

## 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

### [研究課題名]

「薬剤感受性試験結果に基づく抗 MRSA 薬治療の最適化～菌血症治療効果改善の試み」

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 菅原 満 （薬剤部・部長）

### [研究の目的]

耐性菌の 1 種である MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) による感染症に対して、抗菌薬 (抗 MRSA 薬) がその治療に使われますが、現在、日本には 5 種類の抗 MRSA 薬が存在します。どのような部位の感染症に、どの抗 MRSA 薬が最も効き目が良く、なおかつ副作用が少ないのかについては良くわかっておりません。これら抗 MRSA 薬の投与量や菌の感受性、患者さんの腎機能などの臨床検査値や、抗 MRSA 薬の血中濃度などのデータも合わせて調査し、今後の有効かつ安全な感染症治療法の確立に役立てることを目的とします。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

平成 30 年 12 月 31 日までの間に抗菌薬のバンコマイシン (商品名：点滴静注用バンコマイシン 0.5 「MEEK」)、テイコプラニン (商品名：テイコプラニン点滴静注用「トローワ」)、アルベカシン (商品名：アルベカシン硫酸塩 「HK」、ハベカシン注射液)、リネゾリド (商品名：ザイボックス)、ダプトマイシン (商品名：キュビシン) のいずれかの注射薬の投与 (ザイボックスに関しては内服も含む) を 3 日間以上連続して受けた方。

#### ○利用するカルテ情報

入院診療科、年齢、性別、身長・体重、診断名、既往歴、検査値 (CRP (C反応性蛋白)、体温、白血球数、血清クレアチニン値など)、処方および注射薬の投与履歴、抗 MRSA 薬血中濃度 (あれば)、血液培養結果、感染源 (ルート感染によるものか、あるいは肺や尿路感染などによるものか等)、抗 MRSA 薬の投与量・投与期間等、手術歴、ICU 入室歴、免疫抑制薬・抗悪性腫瘍薬投与履歴、入院日・退院日、転帰、副作用発現率

[研究実施期間] 実施許可日～2019年12月31日 (登録締切日：2019年12月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒060-8648 北海道札幌市北 14 条西 5 丁目  
北海道大学病院 薬剤部 副部長 武隈 洋  
電話 011-706-5754 FAX 011-706-7616